

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●久保田貴士調教師がJRA通算400勝を達成

11月3日(祝・日)の3回福島2日・第2レースではミッキーハッスルが1着となり、同馬を管理する久保田貴士調教師(美浦)は、現役40人目となるJRA通算400勝(延べ3908頭目)を達成しました。

●丸山元気騎手がJRA通算500勝を達成

11月3日(祝・日)の3回福島2日・第9レースとして行われたきんもくせい特別ではココロノトウダイが1着となり、同馬に騎乗した丸山元気騎手(美浦・根本康広厩舎)は、現役37人目となるJRA通算500勝(6884戦目)を達成しました。

●勝浦正樹騎手がJRA通算900勝を達成

11月3日(祝・日)の3回福島2日・第11レースとして行われたみちのくSではダイシンバルカンが1着となり、同馬に騎乗した勝浦正樹騎手(美浦・フリー)は、史上44人目、現役では22人目となるJRA通算900勝(1万4134戦目)を達成しました。

●重賞ウィナー3頭の競走馬登録抹消

2017年テレビ東京杯青葉賞(GⅡ)の勝ち馬アドミラブル(牡5歳/栗東・音無秀孝厩舎/JRA通算5戦3勝)、2018年テレビ西日本賞北九州記念(GⅢ)などの勝ち馬アレスパローズ(牡7歳/栗東・角田晃一厩舎/JRA通算34戦7勝)、2017年東京スプリント(大井・JpnⅢ)の勝ち馬キタサンサジン(牡7歳/栗東・梅田智之厩舎/JRA通算40戦6勝・地方1戦1勝)は、11月2日(土)までに競走馬登録を抹消されました。アドミラブルは北海道浦河町のイーストスタッド、アレスパローズは北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬となり、キタサンサジンは千葉県白井市のJRA競馬学校で乗馬となる予定です。

●マヤノトップガンが死亡

11月3日(祝・日)、マヤノトップガン(牡27歳)が老衰のため死亡しました。同馬は1995年有馬記念(GⅠ)などGⅠ・4勝を含めJRA通算21戦8勝の成績を残し、1995年にはJRA賞年度代表馬と最優秀3歳牡馬を受賞。種牡馬としてはスワンS勝ち馬プリサイスマシーン、ダート重賞5勝のメイショウトウコンなどを出し、種牡馬引退後は北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで余生を送っていました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●JBCはチュウワウイザード、ヤマニンアンプリメらが優勝

JBCクラシック(JpnⅠ、11月4日、浦和、2000^円)は、4番手から3コーナーで先頭に立ったチュウワウイザード(川田将雅騎手、牡4歳、父キングカメハメハ)が2番人気のオメガパフュームとの首の上げ下げの接戦をハナ差で制し、単勝1.6倍の支持に応えています。クインズサターンは4着、3番人気のロードゴラツは7着、アンデスクイーンは8着でした。

JBCスプリント(JpnⅠ、11月4日、浦和、1400^円)は、中団から追い上げた6番人気の地元浦和所属馬ブルドッグボス(御神本訓史騎手=大井、牡7歳、父ダイワメジャー)が、先に抜け出した2番人気のコバノキッキングをゴール前で差し切りました。ノボバカラは4着、1番人気のミスターメロディは6着、ファンタジストは10着、サクセスエナジーは11着に敗れています。

JBCレディスクラシック(JpnⅠ、11月4日、浦和、1400^円)は、中団から差を詰めた3番人気のヤマニンアンプリメ(武豊騎手、牝5歳、父シニスターミニスター)が、逃げ粘る2番人気のゴールドクイーンを直線半ばで捉えて2馬身差をつけ優勝。1番人気に推されたファッションスタは更に6馬身遅れの3着、レッツゴードンキは6着でした。なお、モンペルデュはスタート後150^円ほどで他馬による走行妨害のため落馬、競走を中止しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ブリーダーズC～ヴィーノロッソがクラシックを制す

アメリカのブリーダーズC開催が11月1日、2日の2日間にわたってカリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われました。全部で13のG1レースが組まれたこの開催のメインとなるG1ブリーダーズCクラシック(2日、3歳上、ダート2000^円)に優勝したのはヴィーノロッソ(牡4歳、父カーリン、T.プレッチャー厩舎)。道中4番手追走から直線で力強く抜け出して2着のマッキンジーに4馬身^{1/2}差をつける完勝でした。また、この1レース前に行われたG1ブリーダーズCターフ(3歳上、芝2400^円)では来春から社台スタリオンステーションで種牡馬入りするブリックスアンドモルタル(牡5歳、父ジャイアンツコースウエイ、C.ブラウン厩舎)が鮮やかに差し切って優勝。今年6戦6勝(うちG1を5勝)としました。なお、今年は栗東の森秀行厩舎が管理する日本調教馬も2頭参戦。G1ブリーダーズCジュベナイル(1日、2歳牡駒、ダート1700^円)に出走したフルフラットは5着。G1ブリーダーズCスプリント(2日、3歳上、ダート1200^円)のマテラスカイは8着でした。

●G1メルボルンC～メールドグラスは6着

11月5日にオーストラリアのプレミントン競馬場で行われたG1メルボルンC(3歳上、芝3200^円)はG1コーフィールドC2着の地元馬ヴェアアンドディクレア(駒4歳、父デクラレーションオブウォー、D.オプライエン厩舎)が先行策から直線で抜け出して優勝。G1初制覇を果たしました。G1コーフィールドCからの連勝を狙ったメールドグラスは追い上げ及ばず勝ち馬から1.2馬身差の6着でした。